

## 郷土資料館 令和2年度企画展

### 「市民とともに53年～郷土資料館との思い出リクエスト～」 第2期開催中

昭和42年（1967年）に開館し、市民の皆さんに親しまれてきた郷土資料館は、八王子医療刑務所跡地に整備するJR八王子駅南口の集いの拠点内に、新たな施設「歴史・郷土ミュージアム」として、今後、生まれ変わる予定です。

それまでの間、昨年6月に認定された日本遺産や新たな施設に関する情報の発信のために、今年4月に展示機能をJR八王子駅近くへ仮移転し、開館する予定です。

移転にあたり、昨年7月から募集していた展示品のリクエストや郷土資料館で活動する古文書グループ、展示ガイドボランティアの活動を振り返って紹介する企画展を、現在の郷土資料館において開催しています。今回の展示は第2期となります。

#### 1 会 期【第2期】

令和2年（2020年）12月26日（土）～令和3年2月14日（日）

※現在も展示品のリクエストやエピソードなどを募集中（3月31日まで）。

第3期（2月20日（土）～3月31日（水））に分けて公開しています。

#### 2 会 場 郷土資料館1階 特別展示室（上野町33、電話042-622-8939）

#### 3 第2期の主な展示資料

ドイツに渡った八王子の医師 肥沼信次氏の写真や論文、八王子出身の足利学校第16代座主月江肖像画、（伝）千人同心原半左衛門柳樽、島津家の家紋入り長持、フォード社の幻燈機とフィルム、由木村大字東中野資本金利子徴収関係帳簿、近世古文書を学ぶ会・古文書を探る会・古文書解読クラブなど古文書学習グループが解読した古文書や作成した冊子、郷土資料館展示ガイドボランティアが作成したかるたや年表 ほか



左から：島津家の家紋入り長持、フォード社の幻燈機、郷土資料館展示ガイドボランティア活動紹介

<問い合わせ> 生涯学習スポーツ部文化財課長 菅野 電話042-620-7265